

住宅用火災警報器の維持管理

定期的な作動確認

点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的（※1）に作動確認をしましょう。

作動確認をしても警報器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです。警報器本体を交換しましょう。（※2）

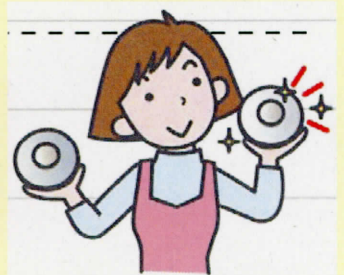


定期的な作動確認

古くなったら交換

火災警報以外の警報が鳴った場合

本体の故障か電池切れです。警報器本体を交換しましょう。（※2）



古くなったら交換

- ※1 住宅用火災警報器の電池の寿命の目安は約10年とされています。警報器の作動確認は、春秋の火災予防運動の時期に行うなど、定期的に実施してください。
- ※2 故障か電池切れか分からないときは、取扱説明書を確認するか、メーカーにお問合せください。なお、電池切れと判明した警報器が設置から10年以上経過している場合は、本体内部の電子部品が劣化して火災を感知しなくなることが考えられるため、本体の交換を推奨しています。

住宅防火いのちを守る7つのポイント

住宅防火

いのちを守る7つのポイント

対策4

お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



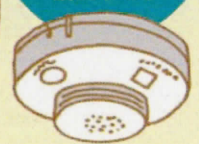
対策2

寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。



対策1

逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。



対策3

火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。



習慣2

ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



習慣1

寝たばこは、絶対やめる。



習慣3

ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

